

環境報告書 2010





かけがえのない地球を守るために

FDKグループ環境方針

FDKグループは、企業の事業活動に伴う環境保全への取り組みについて、国や地方の規制の対応のみならず、地球規模の視点で主体的に地球温暖化対策、廃棄物削減、化学物質の管理の徹底など行動しなければならないと認識しています。今回は、富士通グループの一員として、企業の独自性を生かした環境経営を推進するために「FDKグループ環境方針」を改定しました（2010年5月改定）。

スローガン

FDKグループは自然を愛します かげりある地球のために

理念

FDKグループは、環境保全への取り組みを経営の重要課題に位置づけ、お客様起点に立ち、お客様がご満足いただける電池製品、電子部品を開発・供給して、環境保全・省エネルギー・経済発展の3E (Environment・Energy・Economy) による持続可能な循環型社会に向けて貢献します。また、環境法や環境上の規範を遵守した公正な企業活動を通じて、社会的責任を果たします。

さらに、かけがえのない豊かな自然・美しい地球環境を次世代に伝えていくため、地域社会とのコミュニケーションはもとより、従業員一人ひとりの自他非分離の精神による環境保全活動への取り組みを継続します。

行動指針

1. 事業活動が地球にもたらす環境への負荷を把握し、製品のライフサイクルを通してこれらの負荷を低減する。
2. 有害物質の排除、製品使用時の省エネルギーや長寿命化など環境性能の向上による環境配慮製品の開発を拡充する。
3. 地球温暖化防止のため工場や事務所での省エネルギー対策や物流改善の推進などに取り組む。
4. 3R (リデュース、リユース、リサイクル) 活動により環境負荷を低減する。
5. 製品に使用される原材料、部品、梱包材などについてグリーン調達を推進する。
6. 環境法令の遵守、公害防止などのリスクマネジメントの強化を継続する。
7. 地域社会とのコミュニケーションを深め環境保全への取り組みに貢献する。



主な取り組み

FDKグループでは、海外を含むすべての生産拠点においてISO14001の環境マネジメントシステム(EMS)を構築しています。具体的な活動は、FDKグループ環境行動計画に基づいて展開しています。

2009年度は、これまでのFDK国内生産拠点の環境マネジメントシステムを、富士通グループの環境マネジメントシステムへ統合いたしました。

主な行動計画(国内生産拠点)の目標と実績

項目	目標 (2007~2009年度)	実績 (2007~2009年度)
地球温暖化対策	エネルギー消費CO ₂ 排出量を、2010年度末までに2006年度実績比2%削減する('06年度実績 26,239トン)	2006年度実績比 22%削減 ('09年度実績 20,450トン)
製品の価値向上	環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品*1を開発する	スーパーグリーン製品開発件数 0件 (環境配慮製品の開発比率は100%を達成)
	環境効率ファクター2*2製品を開発する	ファクター2達成製品件数 0件 (ファクター2製品は、開発途上1件)
グリーンファクトリー	VOC(揮発性有機化合物)の排出量を、2010年度末までに2000年度実績比30%削減する('00年度実績 44.3トン)	2000年度実績比 40%削減 ('09年度実績 26.8トン)
	廃棄物発生量を、2009年度末までに2006年度実績比3%削減する('06年度実績 1,294トン)	2006年度実績比 25%削減 ('09年度実績 964トン)
グリーン調達	取引先における環境マネジメントシステム(EMS)を推進する	EMS構築した取引先 148社増加

*1 スーパーグリーン製品:製品環境アセスメントにおいてグリーン製品(環境配慮強化型製品)と評価された中でも「世界初」「世界最小」「国内初」「業界初」「国内最小」「業界最小」となるトップランナー製品のこと。
 *2 環境効率ファクター2:製品の環境負荷に対する製品の価値を2倍以上に向上させること。

環境活動をグローバルに強化する行動計画

FDKグループ第6期環境行動計画

2010年度から2012年度末までの3カ年計画である第6期環境行動計画では、気候変動問題や生物多様性などの環境課題を踏まえた計画としています。

これまでの環境行動計画は国内を対象としていましたが、新たにグローバルな目標設定を行い、2012年度末までに、エネルギー消費CO₂を1990年度比で6%削減、廃棄物の発生量を2007年度実績比で20%削減、そして社会貢献活動と生物多様性の保全に取り組みます。

FDKグループ第6期環境行動計画

項目	目標 (2010~2012年度)
環境配慮設計の開発拡充	<ul style="list-style-type: none">スーパーグリーン製品を3機種以上開発する新規開発品の環境効率ファクター1.2以上を達成する
地球温暖化防止	<ul style="list-style-type: none">エネルギー消費CO₂排出量を1990年度実績比で6%削減する
リデュース、リユース、リサイクル (3R) 活動による環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none">化学物質排出量を2007年度実績比で10%削減する廃棄物発生量を2007年度実績比で20%削減する製品の資源再利用率90%を維持継続する
グリーン調達	<ul style="list-style-type: none">取引先のEMS構築率を向上する
環境マネジメントの運営強化	<ul style="list-style-type: none">本社部門のEMS統合を推進するFDK鳥取、FDKトワイセルと連携しEMS統合へ向けて活動する
地域社会とのコミュニケーションの深耕と生物多様性への貢献	<ul style="list-style-type: none">地域社会と連携し環境貢献/社会貢献活動実施と生物多様性の取り組みを行う

トピックス

CO₂削減への取り組み

FDKトワイセル(株)ではCO₂削減の取り組みとして、2010年10月末完成の予定で太陽光発電設備(システム容量120KWh)を導入いたします。

CO₂削減

クスノキ換算
約112本



太陽光発電
パネル

FDKトワイセル(株)太陽光発電パネル
設置予定図

地球にやさしい「製品の開発」

環境に配慮した製品の開発

FDKグループでは、新製品開発時にはデザインレビューを行い製品のつくりこみの要素として環境面に関する評価(製品環境アセスメント)を行っています。さらに2004年度からは、「スーパーグリーン製品」の開発、2007年度からは環境効率ファクターの向上にも取り組んでいます。

大容量リチウムイオンキャパシタ

充放電のサイクル寿命が長く、大電流の急速充放電が可能な蓄電デバイスです。不要な電力を蓄えておいて、必要なときに放電することで、電力の有効利用や安定供給が可能となります。高温環境下での使用も可能としています。

電力の
有効利用



製品型式
EneCapTen®
ECM45シリーズ

太陽光発電システムに採用

富士電機システムズ株式会社との共同開発によるリチウムイオンキャパシタモジュールが、沖縄県の与那国島などの離島で2010年8月より実証実験が実施される太陽光発電の系統安定化システムに採用されました。リチウムイオンキャパシタモジュールを太陽光発電システムに搭載することで、天候などによる出力の変動を安定させることができます。

直管LEDランプ・電源

蛍光灯(40W・20W)の置き換えタイプの人に環境にやさしい照明です。蛍光灯に比較すると、約60%の省エネ及びCO₂排出量の削減効果が得られます。独自の特殊光拡散技術により、ドットパターンとグレア(まぶしさ)を解決しました。

CO₂
60%削減



製品型式
FLED40S-40-PSW-LHH



循環型社会の構築

情報機器・電子機器のリサイクル事業

FDKグループは、資源循環型社会の形成に向けた情報機器・電子機器のリサイクル事業も行っています。FDKエコテック(株)では、富士通りサイクルシステム(FRS)の中部リサイクルセンターとして使用済みパソコンなどの情報機器から資源を回収してリサイクルすることで、資源循環や再資源化に貢献しています。



パソコンの解体作業

特長

- FRSルートと当社直接の2ルートに対応
- 各種セキュリティ対策を実施
- 収集・運搬から処分までの一貫処理
- 専門性を生かした大型機器の現地での解体・搬出
- 電子機器内に含まれる有害物質の適正処理
- メーカーを問わず、情報機器の他、各種電子機器もリサイクル

FDKエコテック(株) ホームページアドレス
<http://www.fdk-ecotech.com/>



地域社会とともに

社会貢献活動・地域とのコミュニケーション

地球市民の一員として「豊かな自然・美しい地球環境」を永遠に継続していくことを願い、社会貢献活動に取り組むとともに地域とのコミュニケーション向上に努めています。



浜名湖(静岡県)クリーン作戦への参加



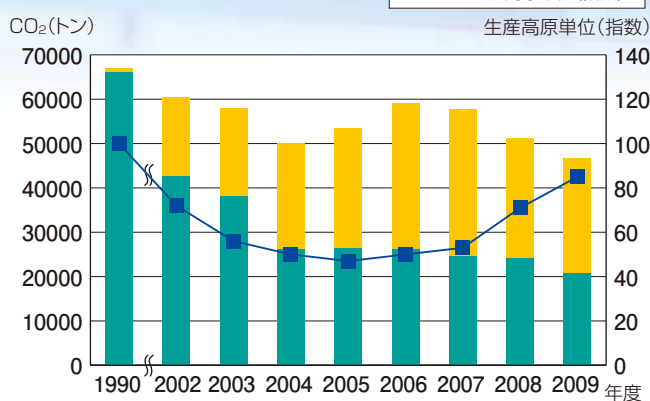
梅田川(愛知県)クリーン作戦への参加



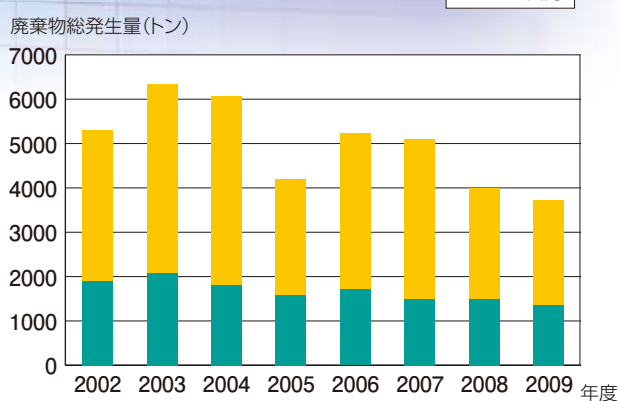
乾電池教室

主な環境負荷データの推移

エネルギー消費CO₂排出量



廃棄物発生量



FDKグループは自然を愛します かぎりある地球のために



この冊子は、溶剤に植物性大豆油を使用した環境対応型インキを使用しています。
本報告書は、主に2009年度の環境活動と2010年度以降の計画をダイジェストとしてまとめたものです。

発行 / 2010年10月
発行部署 / ビジネス支援本部環境技術部
お問い合わせ先 / 住所: 〒431-0495

静岡県湖西市鷺津2281
TEL: 053-575-2506
FAX: 053-575-2560
URL: <http://www.fdk.co.jp>

環境活動URL http://www.fdk.co.jp/kankyoku/kankyoku_index.html